

2 - 1 東北地方およびその周辺の微小地震活動 (1979年5月～1979年10月)

Microseismic Activity in and near the Tohoku District (May, 1979-October, 1979)

東北大学 理学部
Faculty of Science, Tohoku University

前報¹⁾に引き続き、1979年5月～1979年10月の期間における東北地方およびその周辺の微小地震活動について報告する。

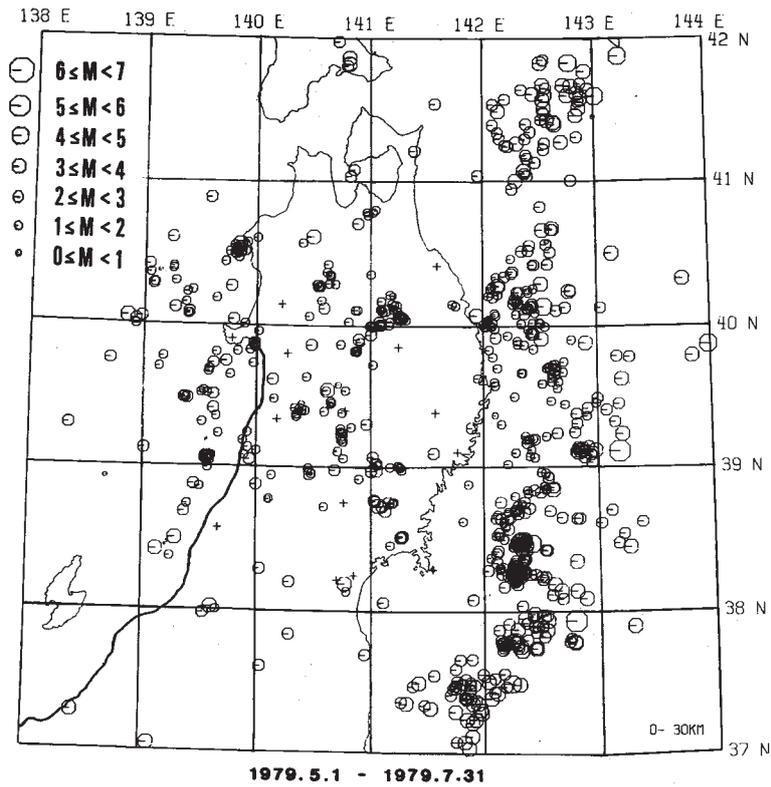
第1図および第2図は、この期間の各3ヶ月毎の浅発地震（深さ30 km以浅）の震央分布図である。内陸部の地震活動のうち特徴的なものを列挙すると、青森県岩崎村付近の群発地震活動、山形県象潟町付近の活動、新潟県紫雲寺付近の活動、岩手山西麓付近の活動等である。

第3図は、この期間の微小地震の緯度1度毎の東西鉛直断面図である。

第4図は、観測網直下38°N～41°N, 140°E～142°Eの領域内に震源決定された深さ50 km以深の稍深発地震の各観測点におけるP波走時残差を示したものである。8点以上の観測点で観測された地震のみを用いている。全観測点とも特別な変化は認められない。

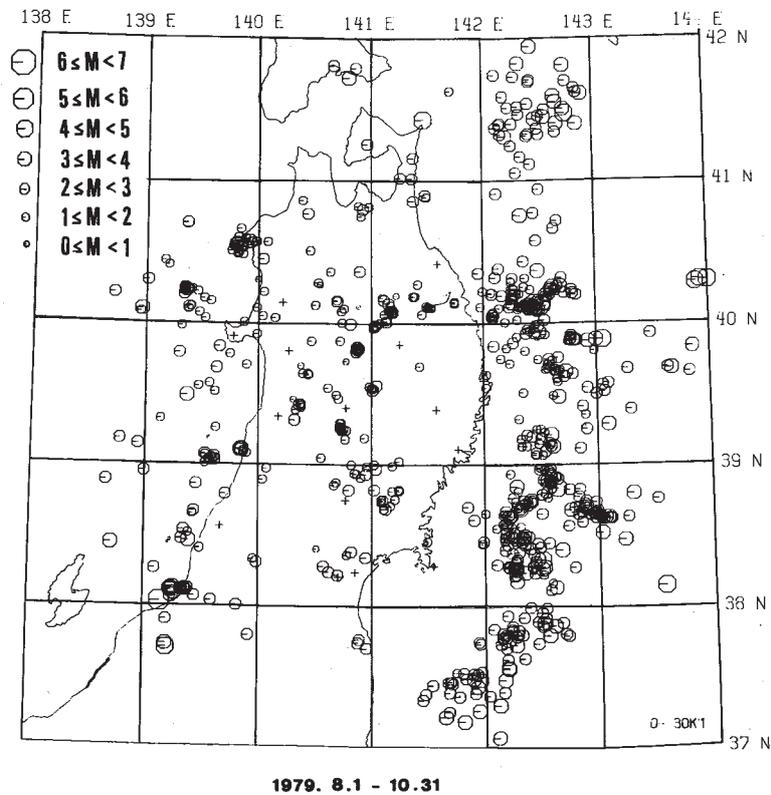
参 考 文 献

- 1) 東北大学理学部：東北地方およびその周辺の微小地震活動（1978年11月～1979年4月）
連絡会報, 22 (1979), 26 - 29.



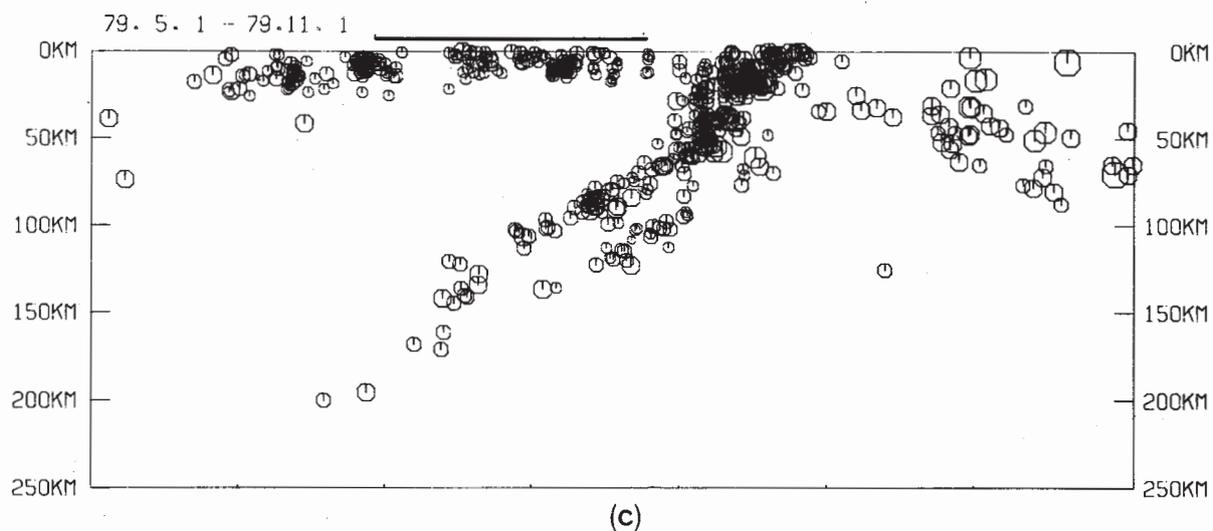
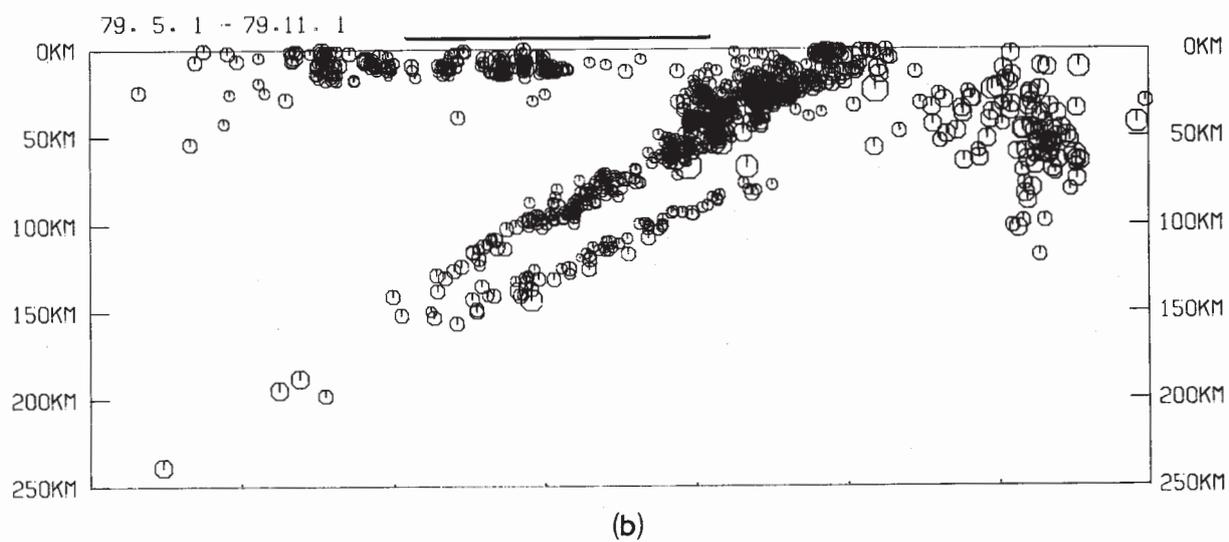
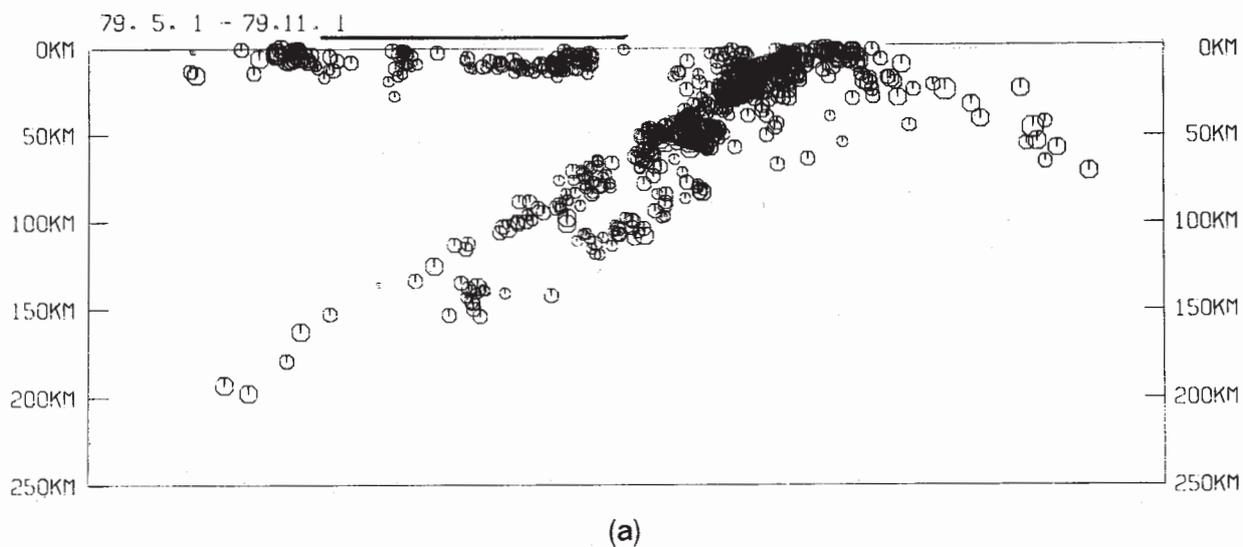
第1図 東北地方における浅発地震の震央分布 (1979年5月~1979年7月)

Fig. 1 Epicenter distribution of shallow earthquakes in the Tohoku District (May, 1979 - July, 1979).



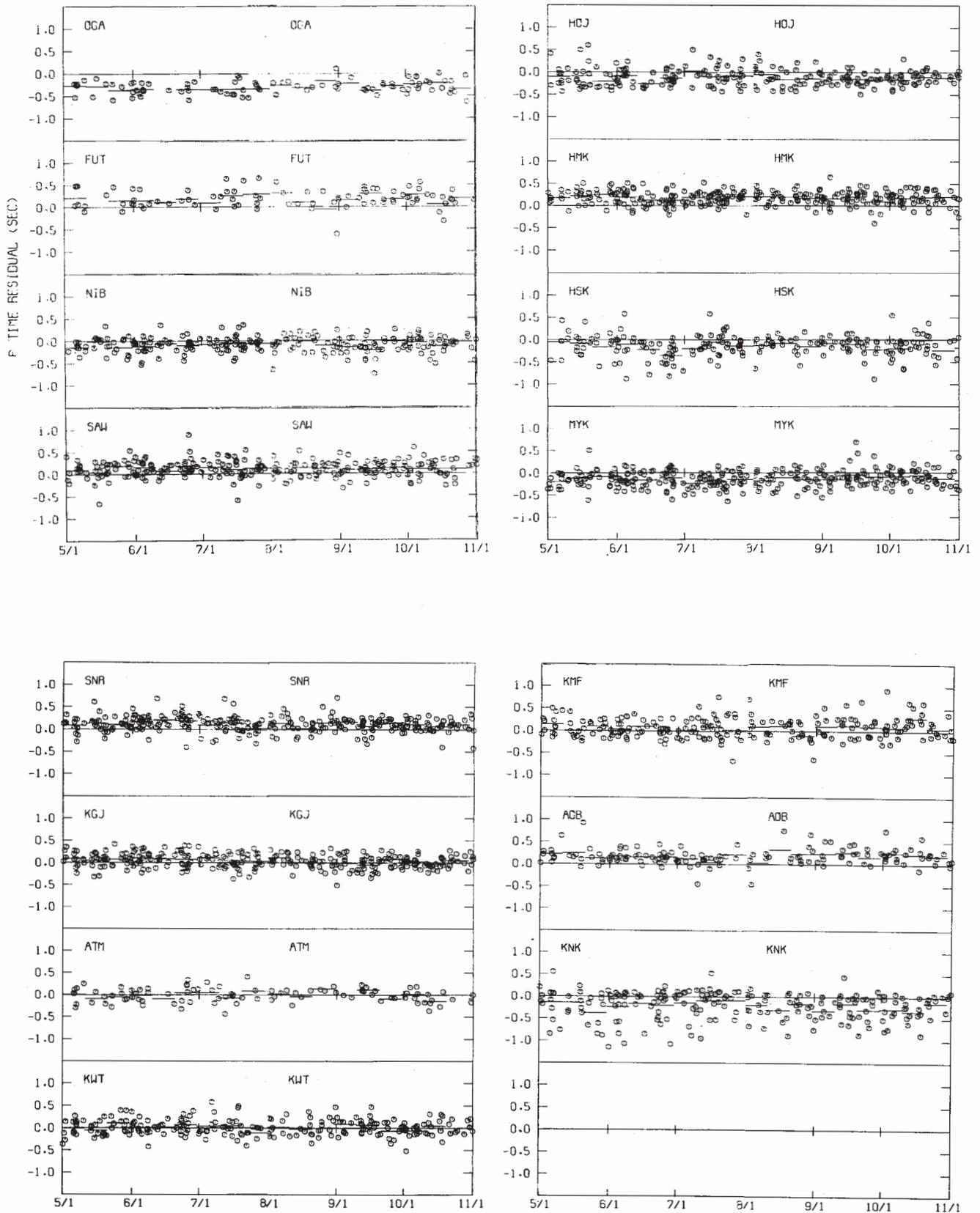
第2図 東北地方における浅発地震の震央分布 (1979年8月~1979年10月)

Fig. 2 Epicenter distribution of shallow earthquakes in the Tohoku District (August, 1979 - October, 1979).



第3図 東北地方における微小地震の東西鉛直断面（1979年5月～1979年10月）（a） $38^{\circ}\text{N} \sim 39^{\circ}\text{N}$ 、（b） $39^{\circ}\text{N} \sim 40^{\circ}\text{N}$ 、（c） $40^{\circ}\text{N} \sim 41^{\circ}\text{N}$

Fig. 3 Focal-depth distribution of microearthquakes projected on the vertical section in the E-W direction. (a) $38^{\circ}\text{N} - 39^{\circ}\text{N}$, (b) $39^{\circ}\text{N} - 40^{\circ}\text{N}$, (c) $40^{\circ}\text{N} - 41^{\circ}\text{N}$.



第 4 図 P 波走時残差の時間的变化

Fig. 4 Temporal variation of P time residuals.